事業概要説明シート

7	<u>-</u>	:	717 1							22 2 211			
事務事業名			町家情報バンク支援助成事業										
事業開始年度				平成21年	担当部署			都市整備推進室					
根拠法令			決裁(町家情報バンク支援に係る助成金交付要綱)										
実施方法		7.46-4-3.4	☑直営 □委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:)										
		ミ 他万法	□その他()							
目 的 (何のために)			枚方宿地区において、賑わいを創出するために必要な整備を行うものに対し、助成金を交付することにより、枚方宿地区の活性化を図る。										
対 象 (誰・何を対象に)			新たな店舗の出店者 (一定の外観基準を満たし、出店のための内装工事をするもの)										
事業内容		業内容	町家情報バンクは、枚方宿地区の魅力の発信と賑わいづくりを目指し、町家等を貸したい人と借りたい人を結ぶことで、地域内にある空家等の活用を支援するための制度であり、枚方宿地区まちづくり協議会が実施している。こうした地元の活動を支援するため、新たな店舗の改装工事等に対し助成している。(補助の上限額) ・まちづくり協議会 250万円 ・個店の事業者 150万円										
類似事業		似事業	・枚方宿歴史的景観保全地区修景助成事業・枚方宿地区出店促進事業 (地域振興部産業振興課)										
事業の必要性		の必要性	枚方宿地区を本市の代表的な地域資源と位置付け、その魅力を一層高めるためにも、賑わいを創出し、地域の活性化を図ることが重要である。										
	□	スト											
			H22年度決算			H23年度決算			H24年度当初予算				
			従事職員数	概算人件		従事職員数	概算人件		従事職員数	概算人件			
	ļ	正職員	0.31 人	2,515	千円エ	0.25 人	2,023	千円エ	0.55 人	4,400	千円工		
	-	再任用職員	人	0	千円千	人	0	千円千	人	0	千円		
	L	非常勤職員等	人		円	人		円	人		円円		
直接		、件費計(A)	2,5		千円千	2,023 千円		円	4,400		千円千		
		i接経費(B)	5,793		円 千	7,700 円		円	4,500		円 千		
総事業費(A+B) 財源内訳				8,308	白	9,809 円				8,900	円		
国庫支出金 府支出金 受益者負担 (使用料等)		TWILL JUNE	H22年度決算			H23年度決算			H24年度当初予算				
		支出金			千円			千円		250	千円		
		出金	3000			3,821 千円							
			5000			千円					円 千 円		
	その	他			千円			千円			千円		
一般財源		財源	5,308			5,988 千円			8,650		千円		
			内容									額	
事		成23年度 園の主な内訳	町家情報バンク支援に係る助成金交付【上田ギャラリー】(補助金2,958)								2,958 千円		
(人件費除く)			町家情報バンク支援に係る助成金交付【ゴロクイチカイカン】〈補助金4,684〉								4,684 千円		
			町家情報バンク	支援に係る助	力成	金交付【塩熊商	吉】〈補助金	144	>	144 千円			

事業概要説明シート

 事務事業名
 町家情報バンク支援助成事業

 事業開始年度
 平成21年度
 担当部署
 都市整備推進室

	1 // // - 2 1 / /				HI II II III III III				
	活動指標もしくは	単位	H22年度	H23年度	H24年度(見込み)				
活動実績	① 新規出店数		軒	1	2	2			
心助天視	2								
	3								
兴	① 総事業意 / 新規出店数		千円	8,385	4,926	4,459			
単位当たりコスト (総事業費/活動指 標)	2								
1 <i>示)</i>	3								
成果目標 (目標とする成果)	内な景観を保全した 店舗の出店など 道が連続して調 さいてゾーン形成 思しながら、3年か 計上)	に対する助成和した景観に なされても良い							
比較参考値 (他自治体での 事業の例など)									
特記事項	ほぼ市単費で短期中期的に実施する事業である。 類似事業との1本化について、枚方宿歴史的景観保全地区修景助成事業は国の補助制度を活用してみの保全整備の観点から長期的な視点で実施する事業であり既に体系化していることから困難であるな家賃補助制度である枚方宿地区出店促進事業については賑わいづくりの観点から短期中期的に実施き事業であり、本助成事業との1本化により効果的に事業を進めることが可能である。本事業により、3年間(H21~H23)で6店舗の誘致ができたが、要因として、地元の物件斡旋などの取りが着実に進められた結果である。内装工事は投資的な費用であるが、家賃補助と一体的に運用するの切と考える。								
一次点検における 事業の今後の方向 性及び具体的な今 後の取り組み方策	方 改善 エリアを含めた助成範囲の拡大について検討する。(補助上限額を2 減額し、助成範囲を街道沿いから枚方宿全域に拡大した)								
一次評価結果	・他事業も関連しており、体制の見直しを図り、人件費を削減できるのでは(30637~30640)・事業としてのあり方の検討の必要性があるのでは								
二次点検における 事業の今後の方向 性及び具体的な今 後の取り組み方策	改善	部門とソフト部門とか図っていく。定期的る。 →事業としての本町家情報バンクラ業並びに都市景観	が連携しなが (3年程度)に のあり方を検う を援助成事業 形成事業の	施する枚方宿地区出店促進事業とあわせ、ハードながら、効果的に枚方宿地区全体の賑わい創出を度)に事業効果を確認しながら実施する必要があた検討 事業及び枚方宿歴史的景観保全地区修景助成事 との事務内容について、区分分けが不明瞭なところ 区分けしにくい点もあるが明確化したい。 →従事					